

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス トラスト鶴見				公表日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	3		利用者が多い時は狭くなってきている。学習機の配置。運動時のスペースが狭い。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1		現状は少ない時がある。職員の増員をする。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2		トイレ回りが狭いため整理し広くできるように工夫していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1		学習スペースは充分であるがフリースペースを利用者がそれぞれ別の事をするとなれば狭い。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		入口をカーテンで仕切っているため個別に話をする場所になっている。	更衣室や学習機の配置
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			把握できていないスタッフがいて、全員が周知できるように改善していく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		月に一度程度、振り返りの場を設けているのは良い事。	意見は収集されている。が業務改善には繋がっていない所がある。改善策をだしていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		交流会に参加することで情報交換ができています。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		ホームページに記載している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		送迎時に保護者の方と話して機会を作っている。	送迎時以外にも面談等を多くしていきたい。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		スタッフから子ども達の情報を共有してサービス計画を作成に繋げている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		具体的な支援方法を示し統一した支援をおこなっている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		設定している。	地域との交流を増やしていきたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		スタッフ全員からの声を聞き活動プログラムを作っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		レクリエーションは季節を取り入れたりと利用者が楽しめるように工夫している。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		その日の子どもの情報や連絡帳等を確認し支援をしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		朝礼や昼礼でその日の支援は確認できている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	終了時は難しいが次の日のミーティングで確認ができている。	休みの連絡事項の様に伝えていくか検討していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		スタッフからの情報や親御さんからの話を聞き改善できている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		方向性や計画等は都度判断し適切な見直しはできている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		週変わりに活動をしている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		TANOを使ったゲーム（支援）を取り入れることで遊びの選択が増えた。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1	相談支援事業所を使っている家庭は少ない。会議等には理解した者が参加している。	相談支援事業所を使うようにすすめています。相談支援事業所との繋がりを深めていく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	3		全員ではないが学校等の連携は出来ているが、色々な関係基幹との連携はしていきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		学校等は情報共有できている。確認等も送迎時やLINEも使い確認している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	3		情報共有はあまりできていない。今後は繋がってきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2		提供共有はあまりできていない。全てできていない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3		今後は他の事業所の方々と連携をとっていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		6		現在はできていないが交流していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1	部会等は参加はできている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		連絡帳や送迎時に行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1		情報提供はできているが研修の機会はない。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1	契約時に説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		懇談会を設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		説明は行い計画している。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		悩み等には支援や相談はできている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5		今後はおこなってきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1	出来る範囲は対応できている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		日々の活動をInstagramにアップして紹介している。ホームページ等も。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		特に注意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		常におこなっている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		地域交流はできていない。今後は連携を図ってきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		マニュアルは全て作成している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		避難訓練は適度に実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1	家族の方から確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2	アレルギー情報も確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画を作り支援している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ヒヤリハットは実施している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		虐待防止のミーティングはしている。	外部の研修会を実施してきたい。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	2			